



'84

8月号

No.176号

鹿部



鹿部クラブース結成10周年記念

野球大会開催される

9月11・12日、野球スポーツ少年団鹿部クラブースの結成10周年を記念して野球大会が鹿部中学校グラウンドと町山前公民館野球場で開催されました。

# 鹿部消防団 夏季演習

七月十日に鹿部消防団夏季演習が行われました。

演習は、消防法の基本及び消防機械器具の取扱いを習熟せしめ、もって消防人としての資質の向上と士気の高揚を期すると共に、防火思想の徹底を図ることを目的として行われたものです。

当日は、午後一時に鹿部消防署前に、浦清防団長以下全団員と出来澤婦人消防隊が集合し、会場の鹿部中学校グラウンドまで街頭行進をしました。

消防訓練では、最初に小隊訓練が行われ、指揮官の号令により見事なチームワークで行進をしまし



た。

消防ポンプ自動車操法では、全道ポンプ操法訓練大会に出場した選手により、優れた消防ポンプ自動車操法が行われました。

また、小型ポンプ操法では、渡島大会操法訓練大会で準優勝したメンバーにより見事な小型ポンプ操法が披露されました。

最後は、出来澤婦人消防隊も混じり各分団対抗ホース巻き競技が行われました。

こうして有事の際には迅速、適切に対処し、町民の生命、財産を火災から守るために日常の消防訓練を行っています。



消防訓練終了後、表彰伝達が行われ、次の方が表彰されました。

表彰

○消防庁長官表彰

(水年勤続功労章)

分団長 若山 正直

○日本消防協会長表彰

(勲功章)

班長 松本 豊藏

松沢 繁

団員 中村 昭八

○北海道消防協会長表彰

(優良表彰)

出来澤婦人消防隊

分団対抗ホース巻

○優勝 第二分団(本別)

第二位 第一分団(鹿部)

第三位 第三分団(大岩)

第四位 出来澤婦人消防隊

第五位 第四分団(宮沢)



# 交通ルールを守ります。

鹿部中学校生徒会が交通安全宣言

七月四日、鹿部中学校体育館において同校生徒会(会長阿部秀明樹君)の主催により「交通安全宣言の会」が開かれ、「鹿部中学校の生徒は、交通ルールを守ります」と川村町交通安全推進委員会会長(町長)や吉村森警察署長等の交通安全関係者に誓いました。

この会は、交通安全に対する認識を深め、正しい自転車の乗り方と歩行を習得するため、生徒会の話し合いで行ったもので、学校や町、交通安全機関、警察も大賛成で、初めての行事となりました。

会は、午後一時三十分、体育館に全員集合し、係の先生のオリエンテーションの後、吉村森警察署長の講演、棟方憲彦部長の「正しい自転車の乗り方」の話を聞いた



あと、阿部君ら生徒会の代表が交通安全宣言をしました。

次いで川村町長が「今宣言した三つは常識的な事ですが、実践されていかない、体をもって覚え、家族全員が交通事故にあわないように」と挨拶しました。続いて畑中教頭先生が「交通安全は、一〇〇点満点でなければならず、九十九%できていても残りの一%で死亡する事にもなるので、交通安全については、パーフェクトでなければなりません。また、宣言をした以上はみんな必ず守りましょう」と結び、交通安全球面を見て閉会しました。

## 交通安全宣言

鹿部中学校の生徒は、交通事故がふえている今日、交通ルールを守ることを誓い

- 一、道路を歩く時は、車や信号に気をつけ、道路横断する時は左右を確認して渡ります。
- 一、自転車の二人乗りや手ばなし運転、無灯火などは絶対にしません。
- 一、登校、下校時には交通規則を守って危険な事はいたしません。以上宣言いたします。

昭和五十九年七月四日

鹿部中学校 生徒会

# 交通安全標語決まる 鹿部小

## 信号をよく見てわたろう

## 赤い目玉が見はってる!

鹿部小学校と小学校PTA交通委員会(委員長野場隆氏)が二年生から六年生までを対象に交通安全標語を募集したところ一九五点の応募があり、審査の結果次の標語が選出され、入選者には賞状と記念品が授与されました。

また、この標語は、児童が自分たちの手で看板をつくり町内十ヶ所に設置しました。交通事故防止の効果が期待されます。

ドライバーの皆さん、かわいいたまごを守るのにはあなたです!

## ◎最優秀標語

五年二組 伊藤 みずえ  
「信号をよく見てわたろう  
赤い目玉が見はってる!」

## ◎二年生

優秀標語 二組 伊藤 順一  
「手をあげて、よくみてわたろう。あんせんの輪」

優良標語 二組 赤沢 ゆうか  
「わたるとき かならず見よう  
右・左」

## ◎三年生

優秀標語 一組 女川 英伸  
「とび出しは みんなの命を  
だめにする」

優良標語 一組 菊地 敏之  
「やめようよ! シグザグラウン  
てん けがのもと」

◎四年生  
優秀標語 一組 浅野 祝喜  
「鹿部小学校は 交通安全  
守ります!」

優良標語 二組 西村 一光  
「あぶないぞ! 二列ならばは  
やめようね」

◎五年生  
優良標語 二組 伊藤 みずえ  
「信号をよく見てわたろう  
赤い目玉が見はってる!」

優良標語 三組 真鍋 香  
「たしかめよう! 車がこない  
か 左右見て」

## ◎六年生

優良標語 三組 木村 幸弘  
「あぶないな 車もこまる  
二人乗り」

優良標語 一組 浅野 ヒロミ  
「鹿部町 事故ない町  
つくろうよ!」



広報しかべ

町制施行記念夏期巡回ラジオ体操が行われました

町制施行記念行事の一つとしてNHKラジオ第一放送によるラジオ体操が、八月六日に鹿部中学校グラウンドにおいて行われました。

当日は、同グラウンドに早朝六時に集合した幼稚園児から大人まで八百十六人が参加し、午前六時半からNHKラジオ体操指導員・水野信一さんの指導で始まり、元氣いっぱい、朝の新鮮な空気を吸って、ラジオ体操第一、第一を行いました。

この状況は、NHKラジオ第一放送を通じて全国に生放送されました。

体操終了後、参加者全員に記念品が配られ、夏の朝のさわやかな汗をかき、軽快な足どりで散会しました。

農業委員会委員

決まる

任期満了に伴う鹿部町農業委員会委員選挙は、七月十日告示、同十五日執行の日程により行われましたが、十日の立候補届の受付において定員十人に対し、立候補者十人と定数内であり、無投票による次の方々が、新しい農業委員となりました。

- 千葉 光夫 字宮浜 六十八才
  - 佐藤 治 字鹿部 六十二才
  - 伊藤 正利 字本別 七十一才
  - 高本 鉄雄 字本別 六十才
  - 山口 繁秋 字本別 六十五才
  - 高橋 浅雄 字本別 七十一才
  - 小田 正彦 字鹿部 七十才
  - 村本 真司 字宮浜 三十三才
  - 中野 徳太郎 字宮浜 七十才
  - 原田 政雄 字大岩 六十六才
- (立候補届出順 敬称略)

鹿部小学校改築工事始まる。

総工費 五億六、八四〇万円

鉄筋コンクリート二階建

総面積 三、二八八㎡

一階 一、六三三㎡

二階 一、六五五㎡

普通教室一五、特別教室七他に職員室、児童会室など工期は来年二月二十八日まで

町の本年度における重点事業の一つ、鹿部小学校の改築が七月四日から来年二月二十八日までの工期で始まりました。

現在の校舎は、昭和二十九年と三〇年の二ヶ年計画で建てられ、その後特別教室等が増築されたもので、老朽化がすすみ、五十八年秋に行った耐力調査では、危険校舎の認定がされ、本年度の改築工事となったものです。

六月二十八日に入札が行われ、建築主体工事は、戸田・大和ハウスの共同企業体が、電気設備工事は、タマツ電気・橋本電気の共同企業体、暖房・給排水衛生設備工事は、昭栄設備・北王鉄工建設、暖房設備の共同企業体がそれぞれ請負い、来年二月の完成へ向けて着々と工事が進められています。



1階平面図



2階平面図





### お知らせ



### 寄付のお礼

○第十六区町内会(会長中野兼利氏)より町に、小学校改築に役立てて下さいとお祭り踊り山の基金の一部三万円の寄付がありました。町では、ご芳志通り有効に使わせていただきます。本当にありがとうございます。

### 終戦当時の引き揚げ者の方々へ

祝賀では、お預りしている次の通貨、証券などをお返ししています。

▽終戦後、外地から引き揚げてこられた方が、上陸港の税関、海運局に預けられた通貨、証券など。▽外地の集結地において総領事館などに預けられた証券などのうち日本に送り返されたもの。

◇ 返還の申し出は、ご本人ばかり

でなく、ご家族の方でも結構です。お心当たりの方は、函館税関監視部(函館市海岸町24番4号港湾合同庁舎内 番四一―二四一内線二二六)へ、お問い合わせ下さい。

函館税関

### 行方不明相談所 開設のお知らせ

道警函館方面本部管内では、昭和四十九年から現在まで三七三人の方が行方不明となっております。また身元不明の要死者は六三人にも達しております。

この中には、不幸にして犯罪の被害者になったり、すでに死亡して身元がわからないために無縁墓地に淋しく葬られている人もあると思われまふ。

このような不幸な人を少しでもなくしたいということから、本年も「行方不明者相談所」を次の日程で開設し、みなさんからの相談により調査することになりました。

なお、相談所では既に捜査願いを出されている方はもちろん、未だ届出されていない方からのご相談も受け付けております。

ご来訪の際には、行方不明者の身体的特徴、顔写真、着衣の状態、手紙など調査の手がかりとなるものがありましたらご持参下さい。警察では、個人の名誉と秘密は

厳守いたしますので安心しておい下さい。

行方不明者相談所

9月3日(土)5日

函館中央警察署

9月7日 八雲警察署

9月10日 江差警察署

時間は、午前9時30分から午後4時まで。

駐在所

### 渡島支庁管内町村職員採用試験 採用試験を行います。

渡島支庁管内町村職員採用試験を次のとおり行います。

1. 試験の区分

一般事務職(上級・初級)について行います。

2. 受験資格

○上級試験は、昭和35年4月2日から昭和38年4月1日まで生まれ、かつ大学を卒業した者に限ります。(短大を除く)

○初級試験は、昭和38年4月2日から昭和42年4月1日まで生まれ、かつ高等学校卒業程度以上の学力を有する者に限ります。(大学卒業の者は、受験できません)

いづれも明年卒業見込みの者

を含み、男女を問いません。

3. 試験の内容 方法

○第一次試験(筆記試験)

上級(1)専門試験

(2)論文

初級(1)教養試験

(2)適性試験

(3)作文

○第二次試験

面接及び健康診断

4. 試験期日

10月14日(日)

5. 試験場所

○上級―函館市、函館商業高校

○初級―福島町、函館市、森町、尻岸内町

6. 受験手続

(1)申込書の請求

申込書は、管内町村役場に請求して下さい。

(2)申し込み

申込書に所定事項を記載し、第一次を希望する町村役場に提出して下さい。

(3)受付期間

申し込みは、昭和59年8月27日から9月14日まで受付けています。

7. その他

詳しくは、役場総務課へお問い合わせ下さい。

### 退職金(Ⅱ)は国の制度で

中小企業退職金共済制度(中退金制度)は、退職金制度をもつことが困難な中小企業に、国の援助で、大企業と同じような退職金を支払うことができるようにすることを目的としています。

この機会に中小企業の皆様のご利用をおすすめします。

この制度には、次の特色があります。

- ① 国の制度ですので、安全・確実です。
  - ② 月々少額の掛金で、企業の実態にあった退職金づくりができます。
  - ③ 掛金は、全額経費扱いになります。
  - ④ 退職金に田舎補助金がつきます。
  - ⑤ 福利厚生施設を設置する場合は、その資金を低利で受けられます。
  - ⑥ 過去の勤務期間も通算できます。
- (掛金) 一、二〇〇円―一六、〇〇〇円までの九種類の中から選んでいただきます。
- (加入の手続)
- 所定の申込書(金融機関に備付け)に申込金を添えて、お近くの金融機関へ申し込んで下さい。
- くわしくは商工会、渡島債金へお問い合わせ下さい。



## 鹿部クラッブプリーズ少年野球大会

## 結成十周年記念野球大会行われる

クラッブプリーズA・B準決勝で惜敗

八月十一・十二日に鹿部クラッブプリーズ結成十周年記念野球大会が、鹿部中学校グラウンドと山形広場野球場において行われました。

この大会は、その冠名のとおり、鹿部クラッブプリーズ(野球スポーツ少年団)の結成十周年を記念し、少年スポーツの普及振興を図り、野球を通じて青少年の健全育成と健康の増進、親睦を図る目的で、鹿部町スポーツ少年団本部と鹿部クラッブプリーズ後援会が主催となり、町教育委員会、北海道新聞社森支局の後援により行われたもので、近隣町村から十九チームが参加しました。

当日からは、クラッブプリーズAとBの二チームが参加しましたが、Aは準決勝で大野少年ダイヤチームと対戦し、一―で大会規定により抽選の結果惜しくも破れ、Bも準決勝で鹿光クラブチームと対戦し、七―〇で破れました。

決勝は、鹿光クラブチーム(南茅部町)と大野少年ダイヤチームが対戦し、六―三で鹿光クラブが優勝しました。



ナイスバッティング



ショートからの大逸球



吉田主将の選手宣誓

## 全道中学校野球大会

## 鹿部中学校準優勝

八月七日から九日までの三日間札幌市で行われた第三十五回全道中学校野球大会に渡島地区代表として出場した鹿部中学校野球部は、見事、準優勝しました。

同大会では

一回戦

鹿部中1―0苫小牧光洋中

二回戦

鹿部中6―2樺内中

準決勝

鹿部中1―0帯広第四中

と勝ち進み、決勝では、奈良県での全国大会出場を切符をかけて留萌中と対戦し、延長八回の末、1―2で惜しくも涙をのみました。

同野球部は、五十四年、五十六年とこれまでも二度全道優勝し、横浜スタジアムでの全国大会に出場している実績もあり、今年も、町制元年の記念すべき年でもあり期待されましたが、今一歩及びませんでした。

しかし、伝統校にふさわしい堂々とした試合ぶりに、「さすが鹿部」との評を得ました。

十日、午後五時には、大勢の町民が待つ球場前広場に着き、山本鉄券監督、西村主将を先頭に、銀メダルを胸に下げ帰町報告会が行われました。

出向えた川村町長はじめ、PTA、町民約二百人からは、「よく



頑張った」、「こぎつさん」との声が上がり、一年間の猛練習に耐え偉業をなしとげた選手にねぎらいの言葉、拍手がとび交いました。



